

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員とともに理念や方針をまとめ、年度ごとに全職員が参加して各棟の目標も別に設定している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会や地域のお祭りや敬老会、花見や栗拾い、演奏会等に参加して交流を図っている。	現状を維持しながら家族や地域住民、関係機関等、より多くの方々と交流の機会を図っていく。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヵ月毎に推進委員や家族に対し、対面や書面、電話やLINE等を通じて交流を図っている。	感染症予防を図りながら集合での開催を実施し、家族や地域住民等、多数の参加を図っていくことが望ましい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行政・医療・民間機関の担当者と頻繁に連絡をとり合い、日常的な地域のニーズや緊急時の支援にも連携して対応している。	現状を維持しながら今後さらに良い関係となるよう努めていく。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年必ず研修し、身体拘束や虐待がないように取り組んでいる。また、防止委員会も毎月実施し、職員会議で共有を図っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者が外部研修に参加し、その内容を内部研修により職員に共有されていた。また、月例の職員会議等で身体拘束について取り上げていた。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内外の研修を通じて学習や防止に努めており、日常的な指導や相談を通じて職員のメンタルケアにも取り組んでいる。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者が外部研修に参加し、その内容を内部研修により職員に共有されていた。また、月例の職員会議等で虐待防止について取り上げていた。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昨年度の反省をふまえて内部研修の機会をつくり職員全体での学習を行っている。今後、必要があれば関係者と連携しながら支援していく。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約等は施設長が代表して対応しており、見学や相談の段階から丁寧な聞きとりに努めている。			
	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的に利用者のお気持ちを伺い、家族にも対面や電話、LINE等で伺う機会を設けている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族からの意見・要望について、その都度管理職に報告・共有・検討を行っている。また、月例の職員会議で個人毎に情報共有を行っている。
	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員会議では全職員がそろって話すことができ、日常的にも気軽に話せる場面もあって反映されている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員会議や個別において説明や把握に努めている。職員同士の評価を把握して努力や実績に応じた評価にも取り組んでいく。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員会議や日常業務において、情報共有を行い、改善に向けて取り組んでいる。
	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の内部研修で全員が学習し、施設単独での講演会も実施している。今後は次世代の人材育成にも取り組んでいきたい。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	業務上の指導のほか、毎月の内部研修に多くの職員が参加している。若い世代の職員育成にも力を入れている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症のため機会は減っているが、地域ケア会議やグループホーム協会等の活動や懇親会にも参加している。			
	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が本人の能力を生かして自然と活動できる環境づくりを図っており、家事や趣味等の経験を生かせるようにしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染対策に努めながら面会や外出、外泊を行っており、電話や手紙等でも家族以外の友人や知人との関係を継続できている。	現状を維持しながら今後さらに良い支援となるよう努めていく。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日常的に利用者や家族から希望や意向を聞きとっており、毎日の送りや毎月のカンファレンスで共有できている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎月棟毎に全職員が参加しワークシートを用いてカンファレンスを行い担当者から現在の状況などを説明し、検討している。	現状を維持しながら今後さらに良い支援となるよう努めていく。	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎月全職員参加のカンファレンスを開いており、担当者から利用者個別の状況を報告し、介護計画を検討している。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの個人記録を残しており、その他に医療、排泄、清潔などに関する記録も残して共有している。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個人記録を作成し、職員間で情報共有しながら実践している。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者には当然の取組として実施しており、地域のニーズに応じた受入にも柔軟かつ積極的に取り組んでいる。	現状を維持しながら今後さらに良い支援となるよう努めていく。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	認知症カフェや自治会行事等を通して地域との連携やゲストを招いた行事も実施できている。	現状を維持しながら職員や関係者との連携を図り、今後さらに良い支援となるよう努めていく。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	隔週の往診以外にもほぼ毎日看護師や薬剤師が訪問して下さったり緊急時も24時間来所して対応して下さったりしている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日常的に医療機関との連携が図られているため家族の意向も踏まえた治療や情報交換、早期退院が実現している。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	協力医療機関が隣接しており、日ごろから連携が取れる体制となっている。治療等について、家族や本人の意向を踏まえた支援を実践している。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員への研修や共有を通して医師と連携しながら本人や家族の希望に応じた看取り介護を実践している。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	終末期における看取り介護に精力的に取り組んでいる。本人家族と話し合いを行い、事業所でできることを十分検討し支援に取り組んでいる。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年必ず緊急時の対応を研修し、消防署とも連携して救急救命講習も毎年実施している。			
	25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回、火災以外にも地震や水害、津波等を想定した昼夜それぞれの避難訓練を行っている。	現状を維持しながら今後さらに良い支援となるよう努めていく。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知機能や身体機能に変化があったとしても最期まで一人の人間として人権や自尊心が尊重される言葉かけを心がけている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの人権を尊重し、支援にあたっている。研修や会議においても、職員間の意識向上を行っている。
	27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	申込時から入所前の生活などを家族に聞きとり、現在の体調や能力にも配慮しながら個室や共用空間等でその人らしく生活を継続できるよう支援している。		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	楽しい雰囲気の中で食べることができるよう食事の好みや嚥下の状態等に配慮している。食前後の家事にも取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に合わせた食事面の配慮や、行事に合わせて楽しめる食事を行っている。利用者と一緒に食前の準備や食後の片づけを行っている。
	29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	調理する職員と連携し、利用者一人ひとりに合わせて形状や味つけ、量などを工夫して提供し、摂取量も記録している。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後に必ず口腔ケアを促しており、歯ブラシやマウスウォッシュ等を一人ひとりの有する能力に応じて使い分けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後に口腔ケアを必ず実施している。義歯や個々の能力に合わせて実施している。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人記録を基に排泄パターンを把握して通常の下着で生活できるように努め、体調や排泄量に応じて紙おむつやパットも使用している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	おむつ等の使用は必要最小限にとどめ、基本として通常の下着で生活を行えるよう支援している。排泄状況は記録し個別に支援している。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの体調や気持ちに寄り添いながら清潔保持に努め、入浴中はコミュニケーションを図り、楽しめるよう努めている			
	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの生活歴や習慣、体調などに合わせて望むタイミングに自室等で休憩や就寝できるようにしている。			
	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	隔週の往診以外にも日常的に山田クリニックやあさひ薬局と密に連絡を取り合い利用者の状態に合わせて薬を調整している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣の薬局と連携を取り合い、個人別に服薬状況を把握している。症状の変化等個別に記録している。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの能力や興味等を把握し、個人や小集団での活動や週に2回の施設全体でのレクリエーションを行っている。	現状を維持しながら今後さらに良い支援となるよう努めていく。		
	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症予防に努めながら自治会やボランティアの協力をえて敬老会や栗拾い、山車見学等の行事にも参加できるようになっている。	感染症予防に努め現状を維持しながら関係者との連携を図り、今後さらに良い支援となるよう努めていく。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かつて訪問販売を利用する方もおり、所持していることで安心できる方もいるため家族に協力して頂きながら支援している。			
	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近年は携帯電話を持参して入居する方が増え、時間帯を問わず家族や友人等と話すことができるようになっている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節に応じた装飾づくりを職員が企画し、利用者の作品を共有空間や自室等に飾り、各節句やクリスマス、正月等の季節に応		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	温度湿度等に配慮し、転倒リスク等回避し安全に生活が送れるようになっている。また、季節に応じた飾りつけ等行っている。

		慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている		じた空間づくりを利用者と一緒に取り組んでいる。			
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	相談や見学の際に時間を長くとり困っていることや不安なこと等を丁寧に聞きとり、信頼や安心をもてるよう努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入所当初は不安が大きいため面会や相談、連絡する機会を多く設けて信頼関係を築くことができるよう努めている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎日の個人記録化や申送り、毎月の全職員でのカンファレンスなどを通じて把握や共有を図っている。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日々の状況を個別に記録し、職員間で情報共有している。カンファレンスなどを通して、より良い介護について検討実践している。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	家族や介護支援専門員、医療機関と連携して把握に努め、入所前により近い環境や活動の提供を図っている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができています	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	使い慣れた物や好きな物、思い出のある物を自由に持ち込んで頂き、安心して生活できるよう工夫している。		☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	それぞれの自室において、個人ごとの使い慣れたものや思い出品を自由に持ち込んで、目の見えるところに飾られている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができています	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者や家族の要望を伺い、関係機関や地域の方々とも連携しながら外出や外泊、行事等への参加を図っている。	現状を維持しながら今後さらに良い支援となるよう努めていく。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者が主体的・自発的に活動できる場面や環境づくりに工夫し、本人の思いを聞きとりながら能力に応じて支援している。			

47		本人は、自分がいいきと過ごす会 話のひと時や、活動場面を日々の暮 らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	椅子やテーブルの配置、座る場 所、余暇活動や休憩スペースに 工夫し、適切な関係や関わりと なるよう工夫している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共用スペースは快適に過ごせるよう 配慮されており、余暇活動等十分な スペースで行えている。
		本人は、自分なりに近隣や地域の 人々と関わったり、交流することがで きている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の要望を伺い、家族や友 人・知人、地域の方々にもご協 力頂いて交流を図っている。	現状を維持しながら今後さらに良い 支援となるよう努めていく。		
	総合	本人は、この GH にいることで、職員 や地域の人々と親しみ、安心の 日々、よりよい日々をおくることができ ている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の尊厳や残存能力に配慮し ながら職員との信頼関係を基に 自立した生活をできるだけ長く 維持できるよう家族や関係機関 と連携しながら支援している。	現状を維持しながら今後さらに良い 支援となるよう努めていく。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	手厚い職員配置もあり、細やかな支 援を行えている。本人や家族からの 満足度は高く、個人の尊厳やこれま での人生に配慮された支援が実践さ れている。今後も個人の状況に合わ せた支援を継続して頂きたいと思い ます。